

人を想つ

いつも綺麗に

お化粧していた

母のために。



高校の教師をしていた母の口癖は、「身だしなみは、いつもきちんとしなさい。」でした。学校ではブラウスにスカート姿、そしていつもきれいな化粧していきいきと働く母は、私たち姉妹の自慢でした。

そんな母が病を患ったのが一年前。突然の事態に私たち家族は動揺しました。お見舞いに行った私たちに「私のことはいいから。それより明日はお父さんが出張だからよろしくね」と、自分のことより家族を気遣う気丈なその姿に、病室を出たとたん涙が止まりませんでした。

病院へは、生徒さんやお友達などたくさんの方がお見舞いに来てくださいました。久しぶりの再会に喜ぶ母でしたが、病床でお化粧もできず白髪が目立つ自分の姿を鏡で見るたびに、寂しそうな顔を浮かべていたのを今でも忘れられません。

それからしばらくして母が他界しました。家族に看取られ穏やかな最期でした。闘病でやつれてしまった自分の姿を最期まで気にしていた母。そんな母のための「メイクドレス※詳しくは裏面をご覧ください」。生前愛用していた口紅と、元気に仕事をしていた頃の写真を渡してお願いしました。メイクドレッサーによる化粧が施され髪の毛をきれいに整えると、幼い頃から自慢だった、あのいつもの母の姿がそこにありました。

「きれいな化粧した姿でみなさんとお別れできて良かったね…」なによりも母がホッとしているように思えました。私たち家族も優しくきれいな母に『最期のプレゼント』を贈ったような気持ちになることができました。

故人様とご家族様の大切なセレモニーを私達がお手伝い致します。



メイクドレッサー 石塚 史理

メイクドレスとは人生最後の旅立ちをお手伝いさせて頂くことです。残された御家族の方の思いやご要望に少しでも添えるよう、心を込めてお手伝いさせて頂ければと考えております。



トータルプロデューサー 海藤 淳子

やり直しのきかない大切なセレモニー。常に緊張感を持って取り組ませていただいております。穏やかなお気持ちで故人様をお送りする事ができるよう、心を込めてお手伝い致します。



フローリスト 田中 雅樹

誇らしげで、みずみずしく咲く花々は、人に安らぎと潤いをもたらします。その時、その思い出を大切に、雅な心と感謝の想いが宿る花々を飾り、いつまでも心に残るセレモニーとなるよう、常に心がけお手伝いさせて頂きます。

